

県本部・活動拠点本部会議(8月14日・朝)議事要旨

■決まったこと、全体への連絡事項

●近畿ブロック等への広域応援派遣要請(本日調整・実施)

・介護施設および福祉避難所の体制強化に関する事務連絡(応援派遣先を福祉避難所と同等とみなす扱い)に基づき、今後のニーズ増加に備えて近畿ブロックに対して1両(1派遣単位)ずつ応援派遣要請を行う調整を進める。

●「生活支援窓口案内(熊本県版)」のポータルサイト掲載と現場活用

・石川県 DWAT が作成した被災者支援窓口・各種制度一覧(熊本県版)を本部ポータルサイトに掲載完了。各拠点・チームで印刷・配布し、避難者への相談案内で即座に活用する。

■各拠点からの報告 ※特記事項

●八代地域

- ・鏡コミセン(鏡公民館)：要配慮者約8名に対し、岡山・宮崎 DWAT が個別支援および近隣(鏡地域)の巡回を実施。
- ・トヨオカアリーナ：新規対応；要配慮者だけでなく、自立避難者への声かけ・初期アセスメント(状況確認)を本日より開始。

●宇城地域

- ・宇土アリーナおよび不知火松橋エリアから不知火体育館への避難所集約が進行中。
- ・ウイングまつばせ：8月15日閉鎖予定のため、残存避難者の福祉ニーズ確認のための巡回を重点実施。

●氷川地域

- ・西部小学校：鳥取 DWAT が日中常駐し、アウトリーチ支援および学校側との協議・会議に対応。
- ・東小学校・氷川中学校：高知・新潟 DWAT が巡回し、アセスメントおよびアウトリーチ支援を展開。

■確認事項・共有事項

●他地域情勢(千葉県大雨被害)の影響把握

・千葉県庁・県社協の情報によると、雨が上がり避難者・避難所数は減少傾向にある。

・懸念点・共有事項：関東地方の社協が本県(熊本)の各市町社協へ入る予定の広域応援について、千葉等の大雨の影響で困難となるリスクがある。社協がボランティアセンター運営等に注力することで在宅アウトリーチ人員が不足した場合、福祉支援チーム(DWAT 等)へ協力依頼が波及する可能性がある。

●生活支援窓口案内（熊本県版）の現場展開

・本部ポータルサイトに掲載した支援窓口・各種制度案内を各拠点で印刷し、巡回時や相談対応時に避難者へ直接渡せるよう準備を徹底する。

■今後検討が必要な事項

●被災高齢者・障害者等の「在宅把握・アウトリーチ協力依頼」への対応方針

・八代市等から寄せられた被災高齢者・障害者の把握協力依頼について、単に把握目的だけで人員を増やすのではなく、今後高まる在宅（高齢者・障害者・生活困窮者等）へのアウトリーチ・個別アプローチ全体の必要性を見極めて方針を策定する。

●広域応援派遣体制の最適化とブロック間調整

・介護施設・福祉避難所に対する広域応援（近畿ブロックへの1両単位要請）を開始するにあたり、ニーズ増に合わせたDWATの配置・構成を検討する。